

## 平成26年度第2回向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 要点録

- 開催日時 平成26年12月12日（金） 午後2時から4時30分閉会
- 開催場所 向日市福祉会館 3階 大会議室
- 出席者 八木橋委員、植田（進）委員、森田委員、石田委員、出射委員、乾委員  
植田（茂）委員、高桑委員、松田委員、柳澤委員、山本委員  
（以上11名）
- 欠席者 川本委員
- 傍聴者 1名
- 議事 (1) 向日市高齢者等実態調査結果について  
(2) 第5期介護保険事業計画における介護サービス達成状況等  
について  
(3) 第7次向日市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画  
素案について  
(4) その他
- 資料 資料1 : 高齢者等実態調査結果報告書  
資料2 : 高齢者等実態調査分析結果  
資料3 : 第5期介護保険事業計画における介護サービス達成  
状況について  
資料4 : 第7次向日市高齢者福祉計画/第6期向日市介護保険  
事業計画案

### ○内 容 冒 頭

- ・ 疋田委員が退任され、今回より乾委員が参加されることを報告した。

### 議事① 向日市高齢者等実態調査結果について

#### (要点)

今年5月～6月にかけて実施した向日市高齢者実態調査の分析結果を別紙資料に沿って事務局から説明した。

一般高齢者と在宅者の調査結果からみえる主な課題としては、今後、独居世帯等が増えていくことが予測されるなか、「閉じこもり」や「孤立死」の防止対策や災害時援護の必要な介護者への支援体制の強化、生活習慣病の予防対策などが必要であること。前回調査との比較からみると、一般高齢者では、引き続き自宅で暮らしたいとの声が多いことから、居宅サービスの継続的なニーズの把握・支援策の検討が必要なことなどの説明に対して、次の意見や質疑があった。

(主な意見・質疑)

○一般高齢者、在宅者、施設サービス利用者調査の対象者数を知りたいとの質問があり、一般高齢者調査は13,983人、在宅者調査は1,350人、施設サービス利用者調査は307人と説明。

○介護保険施設への入所希望者が多いことについての質問があり、介護施設は、他市の方の利用もあり、広域的な地域で充実が図られるよう努めていると説明。

○デイサービスを利用したいが、食費が割高なので利用を控える傾向があることに對して、市から事業者へ行政指導等を行っているかとの質問があった。

議題 ②第5期介護保険事業計画における介護サービス達成状況等について

(要点)

○平成24年度と25年度の介護サービスの利用実績、達成状況及び給付費の推移について説明し、次の意見や質疑があった。

(主な意見・質疑)

○短期入所生活介護(ショートステイ)の利用者数が伸びていない理由はどの質問があり、繁忙期(お盆・正月)には、利用希望が集中するため予約が取れないことが多く、利用数が伸びないことの一因となっていると説明。

○認知症対応型通所介護の実績が伸びている理由はどの質問があり、市内に事業所が新設されたためであると説明。

議題 ③第7次向日市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画素案について

(要点)

現時点での計画素案の内容について説明し、次の意見や質疑があった。

また、今回説明した素案の内容を基本として、パブリックコメントを実施(平成27年1月5日～26日まで)することについて了解を得た。

(主な意見・質疑)

○軽度の認知症の掘り起こしに関する施策をもう少し充実してほしいとの意見があった。

○平成27年4月から始まる介護保険制度改正に関する準備・推進体制の整備について質問があり、事業者等への情報提供については、京都府や保健所、近隣の市町と連携しながら対応すると説明。

○地域包括支援センターの業務量が増えることを懸念する意見があり、国の方針に沿って地域包括支援センターの体制強化とネットワークの充実を図り、適切な対応を行うことを説明。

議題④ その他

(要点)

○今後の委員会のスケジュールについて説明したが、特に意見はなかった。